



発行所 立命館大学新聞社
発行人 阪田 裕介
〒603-8577 京都市北区等持院北町
56-1 立命館大学学生会館2F
直通 075(465)8253
内線 2610
〒525-8577 草津市野路東1-1-1
立命館大学セントラルアーク 4F
e-mail so0405he@ed.ritsume.ac.jp

情報は社会部へ
電話・FAX
075(465)8253
e-mail
so0444xe@ed.ritsume.ac.jp

情宣は文化部へ
電話・FAX
075(465)8253
e-mail
lt0545vi@ed.ritsume.ac.jp

1月号

本号の紙面

講義ノートの在り方…2面
ソフト部元主将が語る…3面
「白川学」を見つめる…4面

海神

今年4月に開設される大阪いばらきキャンパスの近くには、万博記念公園がある。今から45年前に、この地で「日本万国博覧会」が開催された。大阪万博である。「人類の進歩と調和」をテーマに、77カ国が参加し、延べ6400万人を超える人々が訪れた▼経済学者の武田晴人氏は「長く続いた高度経済成長による日本経済の繁栄ぶりは、七〇年、大阪千里山丘陵が開かれた、アジア初の万国博覧会の賑わいに象徴されていた」(『高度成長』岩波新書)と書いている▼大阪万博のシンボルといえる、芸術家、岡本太郎が制作した「太陽の塔」である。岡本は、近代主義的な進歩や調和を否定し、人類の根源的な生命力を喚起させる神像として「太陽の塔」を制作した。現在、皮肉にも最も「反万博」的で、高度経済成長を否定した、この異様な塔だけが、何もない広場に突っ立っている▼安倍晋三首相は、今年の1月1日に発表された年頭所感で、経済成長を政権の最優先課題とし、アベノミクスをさらに推進していくと表明。また「高度経済成長を成し遂げ、日本は世界に冠たる国となりまし

喫煙問題

一部のエリアを撤去

学生の談笑に苦情

11月25日、衣笠キャンパスの存心館裏側にあった火災防止のための管理エリアが撤去された。管理エリアは、キャンパス外での路上喫煙による近隣の建物の火災を防止するため、後期セメスター開始の9月26日からの衣笠キャンパスの3カ所に設置されていた。

3カ所ある管理エリアの一つである存心館の裏側には、学生らによる談笑に対して苦情が起っていた。管理エリアの近くには存心館2階のエクスパンションセンターの自習室などがあり、学習の妨げになっていたという。設置当初から苦情があり、貼り紙などで注意を促していたが改善が見られなかったため、11月25日付で撤去に至った。

いずれの管理エリアも受動喫煙のリスクが低い場所であり、管理エリアの設置前はキャンパス外での路上喫煙に危険が伴っていた。衣笠キャンパスは近隣の木造の住宅や寺院が密接しており、管理エリアの設置は「学生が学

生部部長の村上吉胤さんは存心館裏側の管理エリア撤去について「学生が学

生の首を絞めるような行為」と学生による迷惑行為に懸念を示した。

管理エリア設置の効果は、キャンパス近くの路上と管理エリアの吸い殻の増減をみて検証していく。吸い殻の本数のカウントはセメスターごとに行われる予定だ。効果が見られた際には管理エリア全ての撤去も検討される。

今後も学園全体としてキャンパス全面禁煙を堅持していく方針で、管理エリアの早い撤去を望んでいる。



新学部は右側半円形の建物内(立命館大情報理工学部提供)

可を受け、14年9月9日、大連理工大内で開講された。中国や日本、諸外国の優秀な学生を受け入れ、理論と実践のバランスが取れたグローバルIT人材の育成を目標とする。

コンセプトは①IT分野でのグローバル人材育成のための教育モデルの開発②中国東北

BKCから新キャンパスへ

2014年3月から始まった本企画。約1年、6回に分けて徒歩でBKCから衣笠を経由し、大阪いばらきキャンパス(OIC)に到着した。

最終回は前回の終着点である阪急大山崎駅(京都府大山崎町)から、12月21日午前、年末の寒空のもとOICに向けて再出発した。

山崎を後にすると、一路東へ。やがてJR高槻駅に到着。大阪府を代表する中核都市の駅前には、百貨店や大学などが立ち並び、さらに東へ向い、

『伊勢物語』にも登場する芥川を渡る。やがて学術的に継体天皇(450?~531?)の陵とされる今城塚古墳が見えてきた。全国的に珍しい史跡公園となっている同古墳の隣には、歴史館が併設されている。

その後、阪急茨木



いよいよ今春に開学する大阪いばらきキャンパス(OIC)は12月21日午後4時、茨木市



芥川は春に1000匹の鯉のぼりが上空を泳ぐお祭りでも有名

同じ地にある「天王山」が有名だ。また昨今では朝ドラ「マッサン」効果で、ウイスキーを製造するサントリ山崎蒸留所が注目を集めている。



市駅を経て少し歩けば旅の終着点、OICに到着。ほぼ完成した新たな学舎に気持ちが高ぶった。全6回にわたってお届けした本企画。BKC→宇治→伏見稲荷→出町柳→衣笠→大山崎→OICと計約100キロを歩いた。

Pick Up

2面 投票の基準は

衆院選を控えた12月10日、法学部の野口ゼミが主催で「あなたの投票『基準』は何ですか?」が開催された。

法学部だけでなく他学部からの参加者も。14人の学生が、自身の投票基準を語り合った。

アベノミクスなど主要な論点のほか、それぞれの学生の経験から、さまざまな投票の基準が発表された。学生が主体的に政治を考える場となった。



Ritsumeikan University Press

立命館新聞社

検索

新聞社新WEBサイト公開中!

http://www.ritsumeikanpress.jp/

立命館大の最新情報、立命館大のスポーツ、新キャンパス情報など盛りだくさん!